

平成 19 年 3 月 22 日

## 定期検査中の 4 号機における警報の発生および調査結果について

定期検査中の 4 号機において、平成 19 年 3 月 20 日午後 7 時 28 分、「原子炉水位低」および「原子炉自動スクラム（A 系）\*<sup>1</sup>」の警報が発生いたしました。

調査の結果、原子炉保護系\*<sup>2</sup>の計器点検作業の終了にともなうジャンパー線\*<sup>3</sup>の取り外し作業において、運転員が裏返しの状態でジャンパー線に取り付けられた操作札の記載内容を確認しようとして引き出した際、上部に取り付けられていた別のジャンパー線（原子炉水位低）が外れ、当該警報が発生したことがわかりました。

また、外れたジャンパー線は、経年的な使用により摩擦抵抗が小さくなり、外れやすい状態であったことがわかりました。

対策として、外れたジャンパー線を交換するとともに、容易に外れないことを確認いたしました。

今後ジャンパー線取り付け時には、容易に外れないことを確認いたします。また、制御盤にジャンパー線取り付け作業時の注意事項を記載した表示札を設置するとともに、本事象について関係者に周知し注意喚起いたします。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

### \* 1 原子炉自動スクラム（A 系）

原子炉を緊急停止するための信号が片系統だけ発生した状態であり、制御棒は動作しない。スクラム信号は A・B 両系が同時に発生することで制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。

### \* 2 原子炉保護系

原子炉の安全性を損なうおそれのある事象が生じた場合、あるいは予想される場合、原子炉をすみやかに緊急停止（スクラム）させる装置。

### \* 3 ジャンパー線

電気回路の端子間を一時的につなぐ線。